

道産和牛の明日を拓く！ ① 種雄牛「勝早桜5」

概要 Abstract

良質な黒毛和牛肉を安定的に生産するためには、農家が飼養している雌牛とその雌牛に交配する種雄牛の能力を向上する必要があります。

そこで、肉量、肉質、子牛の発育および雌産子の体型に優れた種雄牛「勝早桜5」を作りました。



「勝早桜5」 血統 勝忠平×安平×隆桜

平成18年生 北海道産 審査得点 83.3

成果 Results

「勝早桜5」の主な特徴

1. 肉量と肉質の能力が高い

肉量（枝肉重量、バラ厚）が多く、肉質（脂肪交雑）が全国の種雄牛の中で4位と高い能力を持っています。

表1 「勝早桜5」の推定育種価

項目・形質	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留基準値	脂肪交雑
推定育種価	72	18.9	1.6	-0.5	3.1	2.6
全国順位	94	11	7	798	20	4

※同時に評価された種雄牛2,579頭での順位



共励会（肉のコンテスト）で最優秀賞を受賞しました。

2. 子牛の発育が良い

子牛（赤線）の発育は標準的な発育（正常発育曲線（太線））を大きく上回っています。

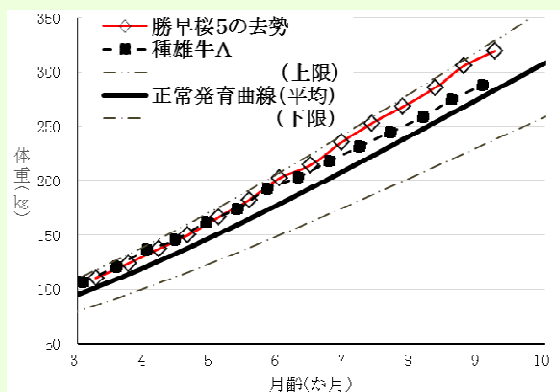


図1 「勝早桜5」産子の体重推移（去勢）

3. 雌産子の体型が良い

体型（プロポーション）が良く（得点が高い）、体格が大きい雌産子が多いです。

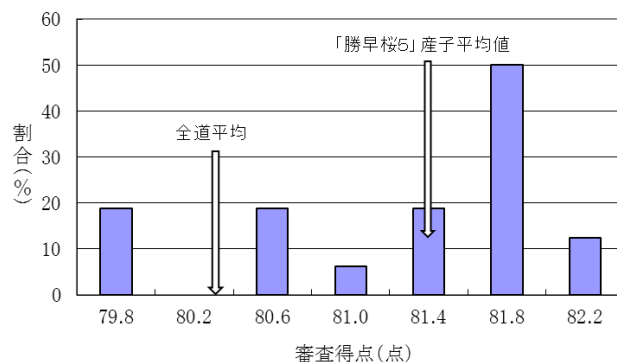


図2 「勝早桜5」雌産子の審査得点

普及 Dissemination

肉量・肉質に加え、子牛の発育や雌産子の体型等、様々な形質で高い能力をもつ「勝早桜5」は道内牛群の改良に広く利用できます。

連絡先 Contact

畜産試験場
家畜研究部 肉牛グループ
0156-64-0606
animal-agri@hro.or.jp